

【FdData 中間期末：中学社会地理：北海道】

【気候】

【問題】(3 学期)

次の文の①，②に適語を入れよ。

日本のほとんどは(①)帯の気候で四季の変化がはっきりしている。しかし、北海道は(①)帯ではなく、(②)帯という気候である。

【解答】① 温 ② 冷(亜寒)

【解説】

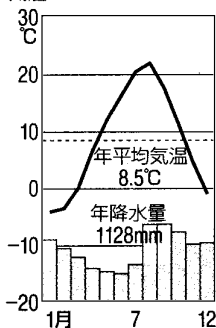
[北海道の気候:冷帯]

・冬の寒さは厳しく、夏は涼しい

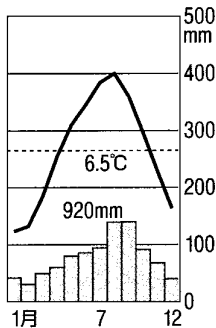
年平均気温は1けた台

・梅雨がない→年間降水量が少ない

気温 A 札幌市



B 帯広市 降水量



日本のほとんどは温帯おんたいに属するが、北海道は冷帯れいたい
(亜寒帯あかんたい)に属する。北海道の気候の特色は、冬ふゆの
寒さが厳きびしく夏なつは涼すずしいことと、はっきりした
梅雨つゆがなく台風もあまり上陸しないため、年間
降水量こうすいりょうが少ないことである。

北海道の雨温図うおんずを見分ける問題がよく出題される。
温帯と冷帯は最寒月の気温によって区別される。
すなわち、「最寒月の気温が $-3^{\circ}\text{C}\sim 18^{\circ}\text{C}$ であれば
温帯、 -3°C 未満であれば冷帯である。」

Aの札幌市の最寒月は1月で約
 -4°C 、図Bの帯広市の最寒月は1月で約 -8°C で
あるので、ともに冷帯と判断できる。(年平均気温
は1けた台である)

【問題】(3学期)

次の各問いに答えよ。

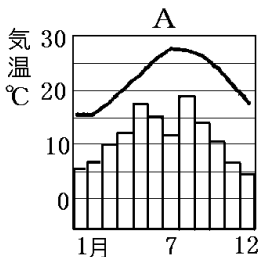
- (1) 北海道が属する気候帯を答えよ。
- (2) (1)の気候の特色を、「冬」「梅雨」という語句
を使って説明せよ。

【解答】(1) 冷帯(亜寒帯) (2) 冬の寒さは厳しく夏
は涼しい。梅雨がないので年間降水量が少ない。

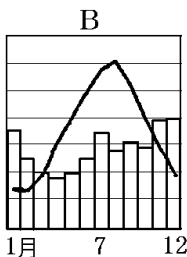
[問題](3 学期)

次の各問いに答えよ。

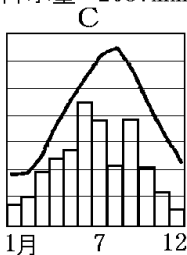
- (1) 北海道の気候は、何帯に属しているか。
- (2) 北海道の道庁のある都市名を答えよ。
- (3) (2)の都市の雨温図にあてはまるものを次のA~Dから選べ。



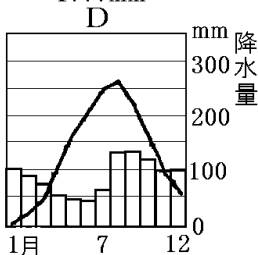
年平均気温 22.7°C
年降水量 2037mm



13.5°C
1777mm



15.8°C
1141mm



8.6°C
1128mm

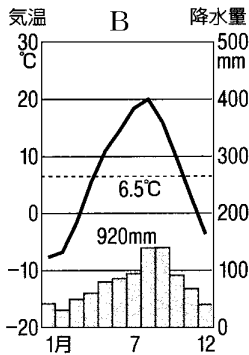
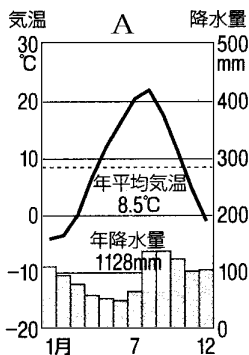
[解答](1) 冷帯(亜寒帯) (2) 札幌市 (3) D

[解説]

(3) 最寒月の気温が $-3^{\circ}\text{C}\sim 18^{\circ}\text{C}$ であれば温帯、 -3°C 未満であれば冷帯である。最寒月である1月の気温が -3°C 未満になっているDが冷帯の雨温図である。なお、冷帯の年平均気温は1けた台、温帯の年平均気温は 10°C 台であるのが普通なので、Dは冷帯、BとCは温帯と判断できる。年平均気温が 20°C 台のAは沖縄などの^{あねったい}亜熱帯の雨温図と判断できる。

[問題](3 学期)

次の2つの雨温図A, Bは札幌市と帯広市のどちらかのものである。



- (1) A, Bはそれぞれどちらの都市の雨温図か。
- (2) (1)のように答えた理由を述べよ。

[解答](1)A 札幌市 B 帯広市 (2) 日本海側にある札幌市は冬の降水量が比較的が多いから。

[解説]

北海道内では、南北にのびる山地によって、気候の特色が変わる。札幌市

日本海側の札幌は、冬の降水量が多い

などの日本海側では、冬になると北西の季節風が日本海を流れる暖流(対馬海流)の影響で多くの

しっけ湿気をふくみ、山地にあたって雪をもたらす。このことから、冬の降水量が多いAのグラフが日本海側にある札幌市の雨温図であると判断できる。気温の面では、日本海側は夏の気温がやや高くなる。

これに対し、山地より東側の地域(帯広市など)^{おびひろ}は、Bのグラフのように、冬の降水量は少なく雪はあまり降らないが、気温はかなり低くなる。夏も気温が上がりにくい。

[問題](3 学期)

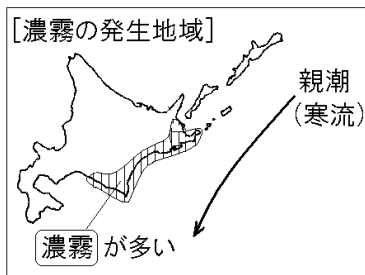
右の地図の()の部分で、気象に関連して見られることを次のア～エから1つ選べ。

- ア 冬に流氷が接岸する。
- イ 台風が来ない。
- ウ 冬の最低気温がマイナスにならない。
- エ 夏に濃霧が発生することが多い。



[解答]エ

[解説]



北海道の太平洋側では、夏の南東の季節風が寒流の親潮(千島海流)の影響を受けて冷やされ、濃霧が発生する。そのため、夏でも晴天の日が少なく気温が低い。

[問題](後期期末)

北海道の太平洋側では、夏の季節風が海流の影響で冷やされて何が発生するか。

[解答]濃霧

◆社会地理の各ファイルへのリンク

<http://www.fdtype.com/dp/sc4/index.html>

◆FdData 中間期末の特徴(QandA 方式)

http://www.fdtype.com/dp/qanda_k.html

◆製品版(パソコン Word 文書：印刷・編集用)
の価格・購入方法

<http://www.fdtype.com/dp/seihin.html>

※ iPhone でリンク先が開かない場合は、
「iBooks」を開いてリンクをタップください。

【Fd 教材開発】 Mail : info2@fdtype.com